

取組1 各局区・各側場における市民参加推進のマネジメント体制の強化

市民参加を推進するための全庁体制である「市民参加推進会議」の開催等に加え、一層効果的かつ持続的な市民参加の推進を図るため、各局区における市民参加推進のマネジメントを強化するとともに、事業のノウハウ蓄積や市民とのネットワークの継承に組織的に取り組むなど、職場単位の取組を充実します。

項目		事業名・取組名	平成28年度実績	平成29年度予定	所管局・区等
取組例1	毎年度、各局区等の運営方針に市民参加の観点を記載し、職員及び市民に各局区等の市民参加に関する方針を明示し、実行	同左	平成28年度から、各局区等の運営方針に市民参加推進の観点を盛り込むよう、総合企画局から各局区等に依頼 (実績) ・基本方針など局区等の全体に関わる部分に、市民参加の観点が記載されている。 ⇒16局区等 ・個別の項目に「市民参加」の観点が分かりやすく、複数記載されている。 ⇒4局区等 ・市民参加の観点が明確には読み取りにくい。 ⇒7局区等	28年度は取組の初年度であり、市民参加の観点が明確には読み取りにくい局区等もあったことから、全ての局区等の運営方針に市民参加の観点を記載するよう、各局区等に一層働きかけを行う。	総合企画局
取組例2	各職場レベルでの市民参加推進の意識や能力を高めるために、市民参加推進を担う職員を各局区等に配置	同左	他都市事例などを調査し、内容を検討中	特定の研修を受けた職員を市民協働ファシリテーター（仮称）に任命し、各局区等において市民との対話の場の創出に取り組む。	総合企画局
取組例3	市民参加に関する知識、ノウハウ、成功例等の手引きや事例集等を作成し、全職員で共有	同左	26・27年度に市民参加推進フォーラムにおいて取り組んだ手引きを発行予定	22年3月作成にした「市民参加を進めるための審議会等運営ガイドブック」や、24年4月に作成した「職員のための市民参加推進の手引き」について、必要に応じて時点修正等を行う。	総合企画局
その他(計画の取組例に記載のないもの)		—	—	—	—

「第5章 計画を着実に進めるための推進体制」進捗状況

取組2 職員の市民参加推進に対する意識の向上と能力開発の計画的な実施

職員が市民参加推進に積極的に取り組めるよう、意識の向上を図り、必要な技術・能力を開発するため、体系立てた研修の実施や、自己研鑽の支援、実践経験を積む機会の充実などに取り組みます。
また、一市民として地域のまちづくり活動に積極的に参加する職員が増えており、「真のワーク・ライフ・バランス」の実現を更に推進する上でも、こうした職員の活動を推奨するとともに、まちづくりに関する知識や経験をいかした職員配置などに取り組みます。

項目		事業名・取組名	平成28年度実績	平成29年度予定	所管局・区等
取組例1	全ての職員を対象とした、市民参加に関する体系立てた職員研修を実施	同左	—	市民参加に関する体系立てた研修について、30年度からの実施に向けて内容を検討	総合企画局
取組例2	京都市の研修や民間プログラムの活用などにより、職員が市民との協働を進めるうえで特に必要となる「伝える力」、「聴き、読み取る力」、「伝え合う関係づくり」などの能力開発のほか、コーディネート・ファシリテーションの技術や、まちづくりに関する知識などを習得する機会を充実	伝える力 鍛見隊	職員の伝える力を高めるためのプロジェクトチームを結成。28年6月28日から、月1回以上活動中。毎月、庁内の広報発表やチラシ等の広報活動のうち、優良な活動を選出し、動画での発信を行っている。現在、「伝える力」向上を庁内に波及させるための具体的な取組を検討中。 ＜定例会＞7回開催 ＜隊員＞15名	29年5月まで広報事例の調査とともに、「伝える力」向上を庁内に波及させるための具体的な取組を実施予定。	総合企画局
		階層別研修の充実	課長級、係長級の各階層別研修において、新たに「伝える力」を追加 (実績) 新任課長級職員研修 104名 (6/10実施) 新任係長級職員研修 215名 (6/16実施)	継続実施	行財政局
		市民協働ファシリテーション研修	市民協働型の事業推進に生かせるよう、市民協働型ファシリテーション研修を実施 (実績) 13名 (1日目7/29, 2日目8/5, 3日目10/21)	研修内容の充実予定 (市民との「伝え合う力」を強化)	行財政局
		スキルアップ研修「伝える力」	主任級以下職員を対象としたスキルアップ研修において、「伝える力」に重点を置いた科目の内容を充実 (実績) 121名 (9/12, 12/12, 12/13)	継続実施	行財政局

きょうかんプロジェクト	平成28年度は「「伝える力」などを向上させるための取組」を推奨テーマの一つとし各所属でプロジェクトを実施。 (結果集計中)	取組結果を踏まえ検討	行財政局
北区役所改革実践チーム KITAKUBU	区役所の若手職員で構成されていた北区役所改革実践チームの活動充実させ、よりよい市民サービスの提供を目指す取組を実施。 ・赤ちゃんが生まれた御家庭に対し、京都の伝統産業である和裁の記念品とメッセージカードを贈呈し (send a smileプロジェクト)、好評を得ている。 ・グループ活動やイベント情報を発信するfacebook の開設 (11月) ・区民の皆さんをお迎えする庁舎玄関を北区にふさわしいものにするため、葵祭で使われる希少なフタバアオイを育てている地域団体の協力を得て、植樹を行う予定 ・その他、庁舎案内板のリニューアルに取組中	引き続き、チーム活動を充実させ、よりよい市民サービスの提供を目指す。 平成29年度の活動内容については今後検討予定。	北区役所
(北区役所) 市民対応研修の充実	すべての職員が区民の皆さまの様々な問い合わせに適切に対応できるよう、市民対応研修を実施し、市民対応サービスの向上を図る。 ・転入職員等を対象にした区役所業務全般に関する研修等を実施。(5月, 19人) ・「京都市手話言語がつなぐ心豊かな共生社会を目指す条例」の制定を受け、全職員を対象に手話研修を実施。(11~12月, 135人)	平成29年度の研修計画については、今後検討予定。	北区役所
市民満足度向上会議	庁内横断的なプロジェクトチーム(市民満足度向上会議)(12名)において、区民サービスの向上につながる活動に取り組んだ。 庁内横断的なプロジェクトチーム(市民満足度向上会議(12名))において、活動に取り組んだ。 平成28年9月 第1回会議 平成28年10月 第2回会議 平成28年11月 第3回会議 平成28年12月 第4回会議	検討中	上京区役所

市民対応研修	<p>すべての職員が区民の皆さまの様々な問い合わせに適切に対応できるよう、市民対応研修を実施し、市民対応サービスの向上を図る。</p> <p>①H28. 7. 20～22 22名受講 やさしい日本語</p> <p>②H28. 10. 3&5 26名受講 クレーム対応</p>	未定	左京区役所
左京区役所プロジェクトチーム	<p>来庁された区民へのサービスを向上させるとともに、区役所のまちづくりの拠点としての機能を向上させるため「区民目線」に立って、新たな区役所の取組アイデアを創造・提案するとともに、その中で可能なものから実践していく。</p> <p>平成28年10月28日左京区プロジェクトチーム委嘱式、第1回会議開催。これまでに63のアイデアが出され、その中から議論を重ねた上で、実現可能性の高い企画に取り組んでいる。</p>	未定	左京区役所
中京区役所なかなかプロジェクト	<p>「伝える力・聴く力の向上」をテーマに、市民対応の向上及び職場の活性化に向けた取組を行う。</p> <p>12月末までに5回のミーティングを実施 (内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「伝える力・聴く力」を向上させるために何が必要か話し合うとともに、様々な取組を企画 ・ファシリテーション研修（講師：京都市まちづくりアドバイザー） ・市民対応経験が豊富な職員を招き、意見交換会を開催 ・区長ランチミーティングを開催 	未定	中京区役所

<p>中京区役所なかなかプロジェクト若手職員チーム</p>	<p>市民サービスを向上させるために、区役所内の若手メンバーを中心に活動。市民目線で「もっとこんなものがあったら便利なのに、楽しいのに」と思うような企画や活動をメンバーたちが考え、実現に向け取り組む。月に1回程度開催。</p> <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域密着型マップの作成 ・メンバーの市民対応力向上のため、業務勉強会を実施 ・区役所待合スペースに絵本棚を設置するための準備 ・「屋上庭園10周年記念お月見の会」など、区役所開催イベントへの参加 	<p>未定</p>	<p>中京区役所</p>
<p>おもてなしのまち推進事業 (ステキ☆力向上委員会)</p>	<p>市民満足度向上を目指して活動するチームを設置し、活動の一環として、区役所各所属の業務について職員向け研修を実施。 平成29年1月19日実施</p>	<p>今年度の事業終了後に継続実施について判断する。</p>	<p>右京区役所</p>
<p>市民対応研修の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年度当初に新規採用職員・区役所初任者職員を対象にした区役所業務全般に関する研修等を実施している。 平成28年5月17日に実施。6名受講 横断的な業務内容の把握に役立った。 ・全職員向けに、応対方法等の実践力を身につけるための市民対応研修を実施し、市民対応サービスの向上を図る。 平成28年11月16日、29日の2回実施。計36名受講。 応対方法やマナー等、実践につながる内容であったと受講者の満足度は高かった。 	<p>前年同様に、年度当初に新規採用職員・区役所初任者職員を対象にした区役所業務全般に関する研修等を実施する予定。 また、全職員向けに、応対方法等の実践力を身につけるための市民対応研修を実施し、市民対応サービスの向上を図る研修も実施予定。</p>	<p>西京区役所</p>

		プレゼンテーション研修	<p>職員の「話す」スキルや効果的なプレゼンテーション能力の向上を目的とした研修を実施する。</p> <p>平成28年8月23日実施 参加者10名</p> <p>パワーポイントを用いた、訴求力の高い資料を作成するための方法を学び、自主制作を行った後、受講者による発表を実施した。</p> <p>受講者は、講師から、①内容、②話し方、③資料、④表現について、評価を受け、「話す」スキルや効果的なプレゼンテーション能力の向上を図った。</p>	継続（予定）	上下水道局
		主事級職員スキルアップ研修	<p>主事級職員スキルアップ研修において、新たに「伝える力」、「聴く力」等の向上を目的にした講義を行う。</p> <p>平成29年1月24日、25日実施予定</p> <p>新たに「広報・報道について」の項目を追加し、「伝える力」、「聴く力」等の向上を目的に講義を行う予定である。</p>	継続（予定）	上下水道局
取組例3	地域のまちづくり活動に積極的に参加するなど、「真のワーク・ライフ・バランス」を実践している職員の顕彰や、その活動で得た知識や経験をいかした職員配置を実施	京都市職員の真のワーク・ライフ・バランスに資する活動の表彰	<p>本市の職員及び団体で、大幅な時間外勤務削減を達成した取組や、仕事との両立を果たしつつ、家庭や地域での活躍が顕著である職員等を表彰し、限られた時間で成果を上げる生産性の高い働き方の実現及び真のワーク・ライフ・バランスの推進を図る。</p> <p>（表彰者選定中）</p>	継続実施	行財政局
取組例4	官民協働のプロジェクトに参加する職員を庁内公募するなど、市民との協働の実践経験につながる機会を充実	京都市中小企業未来力会議	<p>中小企業等が抱える課題を共有するとともに、業界団体、経済団体、金融機関等、業種横断的に幅広い関係者の知恵と力を結集し、実効性ある振興策を検討し、実行につなげるために、新たに設置。</p> <p>会議には、産業観光局の職員を中心に、関係部署等の職員が参加し、中小企業経営者等と同じテーブルでワークショップに参加して、議論に加わっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回会議の開催（8月）参加者100名、うち市職員18名 ・ワーキンググループの開催（9月）参加者24名、うち市職員19名 ・ワーキンググループの開催（12月）参加者23名、うち市職員18名 ・第2回会議の開催（10月）参加者99名、うち市職員29名 	継続実施	産業観光局

<p>その他(計画の取組例に記載のないもの)</p>	<p>ソーシャル・イノベーション・サミット2016 ～人を巻き込む「モテる」公務員と未来を創る！～</p>	<p>地域や社会における課題に対し、革新的なアプローチで効果的・持続的なソーシャル・イノベーションに取り組まれている方々に全国から集まっていただき、東京一極集中の打破や地方創生を推進するネットワークを形成すること、また、市職員が職務に前向きに取り組む姿勢を学ぶとともに、多様な主体と協働するためのヒントを得ることを目的に開催。京都市職員も44名が自主的に参加。</p> <p>(実施概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時 平成28年8月27日(木) 午後1時から午後18時 ・場所 同志社大学 ・参加者 215名(うち、京都市職員44名) ・内容 <第1部> パネルディスカッション:「モテる公務員」と未来を切り拓く <第2部> 8つの分科会 	<p>—</p>	<p>総合企画局 産業観光局</p>
----------------------------	---	--	----------	------------------------

「第5章 計画を着実に進めるための推進体制」進捗状況

取組3 区役所・支所の総合調整機能の強化

区役所支所については、これまでから、権限強化や体制整備など様々な改革に取り組み、市民と共にまちづくりを積極的に推進してきました。今後、区民主体のまちづくりを更に進めるため、庁内各部署、地域の行政機関、様々な団体や人との連携やネットワークづくりを更に進め、総合調整機能の強化に取り組みます。

項目		事業名・取組名	平成28年度実績	平成29年度予定	所管局・区等
取組例1	区役所・支所と地域や学校等とのパイプ役であるまちづくりアドバイザー、子ども育みサポーター(教育委員会首席社会教育主事)等の専門性や、福祉的支援が必要な方に、地域や福祉の専門機関と連携・協働し、適切な支援に結びつける地域あんしん支援員等の取組等もいかし、学校・PTA・学校運営協議会、自治会・町内会、学区社会福祉協議会・民生児童委員協議会などの地域福祉組織のネットワークを強め、地域のまちづくりを推進	同左	地域コミュニティ啓発冊子「京・きずな・まち」に地域とPTAのつながりを深めている事例を紹介し、地域とPTAの連携を促進	ネットワークの仕組みづくりの検討・推進	文化市民局
取組例2	地域コミュニティの活性化をはじめ、空き家やいわゆるごみ屋敷対策など、これまでの行政の枠組だけでは解決できない地域の課題に対して、区役所が本庁関係部署や関係機関等と連携しながら、これまで以上に市民、NPO等との協働を深め、積極的に対応	同左	<ul style="list-style-type: none"> ・ 団体間の連携強化による地域課題への対応、より多くの地域住民の参画(自治会加入率向上等)に向けた組織運営や活動に、学区全体で取り組む「地域力アップ学区活動連携支援事業」を2学区(貞教学区、藤森学区)で開始(平成28年12月) ・ 引っ越しの多い時期である3、4月を「地域力アップキャンペーン月間」に設定し、地域と行政が連携して、自治会・町内会への加入促進の取組を強化(平成29年3月取組予定) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「地域力アップ学区活動連携支援事業」の継続 ・ 「地域力アップキャンペーン月間」の継続 	文化市民局

取組例3	区役所・支所の独自性が発揮できる業務について、組織、職員定数及び予算要求に係る区長権限を強化するなど、地域の問題解決に向けた区役所・支所の体制を強化	同左	<ul style="list-style-type: none"> ・各区の特性に応じた区政を展開し、区民主体のまちづくりをより一層戦略的に推進していくため、左京区役所及び右京区役所地域力推進室に「企画課長」を設置 ・平成29年度予算編成から、「区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算」のうち共汗型事業の予算について、各区が配分額を超えて予算要求することを可能とし、予算要求に係る区長権限を強化 	引き続き、区長権限の強化や区役所・支所の体制強化を推進	文化市民局
取組例4	区長が総合調整機能を十分に発揮し、区役所機能を更に強化するため、また、区民主体のまちづくりを一層戦略的に進めるために、各区役所等における企画体制を充実		4月1日付で、左京区及び右京区に企画課長を配置	引き続き、企画体制の充実について検討	文化市民局
その他(計画の取組例に記載のないもの)	—	—	—	—	

「第5章 計画を着実に進めるための推進体制」進捗状況

取組4 市民参加推進計画の進捗状況や課題の公表

市政運営における市民参加の効果や市民のまちづくり活動の活性化の状況などを、市民が実感できるよう、より分かりやすい形で市民参加推進計画の進捗状況や課題を公表します。

項目		事業名・取組名	平成28年度実績	平成29年度予定	所管局・区等
取組例1	市民参加推進計画の進捗状況を、毎年市会に報告するとともに、ホームページ等で公表	同左	平成28年9月市会において、「27年度の実施状況及び28年度の実施計画」を市会に報告するとともに、ホームページに掲載した。 ※例年、5月市会で報告しているが、28年度計画改定の初年度であり、実施計画の作成に時間が必要であったことから、例外的に9月市会で報告を行った。	平成29年5月市会において、「28年度実施状況及び29年度実施計画」を報告する。	総合企画局
取組例2	附属機関「市民参加推進フォーラム」において、計画推進に関する成果や課題等を分析し、数値を用いるなど分かりやすい形でホームページ等で公表	同左	現在取り組んでいる事業分析の結果をホームページ等で公表する。	フォーラムにおいて、計画推進に関する成果や課題等を分析し、公表する。	総合企画局
その他(計画の取組例に記載のないもの)		—	—	—	—